

学校感染症の診断書及び証明書

氏 名 _____

1. 上記の者について、下記の病気（○印）と診断しました。

2. 上記の者について、下記の病気により

令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
（ 日間）出席を停止したことを認めます。

種類	○印	病 名	出席停止期間の基準 (但し、医師が感染のおそれがないと認めた時は、この限りではない)
第 1 種		病名（ ）	治癒するまで
第 2 種		インフルエンザ A型	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日） を経過するまで
		B型	
		その他	
		百日咳	特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が 終了するまで
		麻疹	解熱後 3 日を経過するまで
		流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態 が良好になるまで
		風しん	発しんが消失するまで
		水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
		咽頭結膜熱	主要症状が消退した後、2 日を経過するまで
		結核	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
		髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
		新型コロナウイルス感染症	発症した後 5 日を経過し、かつ、症状軽快後 1 日を経過するまで
第 3 種		コレラ	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
		細菌性赤痢	
		腸管出血性大腸菌感染症	
		腸チフス	
		パラチフス	
		流行性角結膜炎	
		急性出血性結膜炎	
	(下記は条件によって出席停止の措置が必要と考えられるもの)		
		溶連菌感染症	抗生剤治療開始後 2 4 時間を経て全身状態がよくなるまで
		手足口病	発熱、口内疹などの急性期症状が消退して、全身状態が安定するまで
		伝染性紅斑	発疹のみで全身状態がよくなれば登校可能
		ウイルス肝炎	症状が改善し、全身状態が良くなるまで
		マイコプラズマ感染症	
		流行性嘔吐下痢症	
		ヘルパンギーナ	
		その他（ ）	

「通常出席停止の措置は、必要ないと考えられる感染症」 アタマジラミ ・ 水いぼ（伝染性軟属腫） ・ 伝染性膿痂疹

令和 年 月 日

医療機関名

医 師 名